

お互いに支え合うやさしいまちづくりをすすめます！

「星置地区福祉のまち推進センター」

福祉のまち推進センター（通称「福まち」）って？

札幌市も超高齢社会を迎え、地域が一丸となって、住民同士で見守り、支え合う活動が求められています。

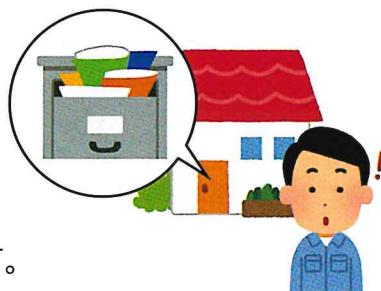


©TEINE WARD SAPPORO

こうした中、幅広い市民の方々による自主的な福祉活動を行う組織として、地区社会福祉協議会（概ね連合町内会）ごとに設置されているのが、「地区福祉のまち推進センター」です。

福祉のまち推進センターが目指すものは？

見守り・訪問活動や簡単な日常のお手伝いといった同じ地域の住民同士による支え合い活動をすすめ、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指します。



高齢者が一人で住んでいる家の前を通りかかった際に、郵便受けに新聞や郵便物が溜まりっぱなしになっているなど「いつもと違う様子」に気づく

見守り・訪問活動

近隣に高齢者等の孤立死や閉じこもり等を防止するために、日常生活の延長線上で行う「気にする・気にかける」活動ができるよう、その体制づくりをすすめます。



自宅のゴミ出しを行うついでに、近隣の足腰が弱ってしまった高齢者宅のゴミ出しもお手伝い

簡単な日常のお手伝いのできる体制づくり

ゴミ出し、話し相手、電球の交換、外出時の付き添い、除雪などの生活上のちょっとしたお困りごとをお持ちの方に対する支援活動ができるよう、その体制づくりをすすめます。

「星置地区福祉のまち推進センター」ではこんな活動をしています！

見守り・訪問活動



町内会・自治会による見守り・訪問活動について、地域福祉マップづくりや活動の実践方法等に関する研修会を実施。また、適時、見守り・訪問活動に関する相談・助言を行っています。

交流活動

健康ウォーキング



ちびっこ運動会



ふれあい餅つき大会



高齢者食育講座



交流活動として、春には花見を兼ねた「健康ウォーキング」、夏には「ちびっこ運動会」、新年早々には「ふれあい餅つき大会」をそれぞれ開催しています。

また、高齢者向けの「高齢者食育講座」も開催しています。

研修・広報活動



福祉推進委員の職責と活動の在り方について、関係機関からの指導を受ける研修を定期的に実施しております。また、現場活動に役立つ福祉用具の操作、効能等について「福祉フェア」等を通じ研修しています。地区の福祉活動については年6回発行の「星置社協ニュース」を発行し、全地域に配布しています。

サロン活動



地域の高齢者を対象としたいきいきサロン「ふれあい喫茶」を開催しています。

年5回、10:00～11:30 星置地区センターで行っています。

歌あり、おしゃべりあり、体操ありと、楽しいひとときを過ごすことができますよ。

「福祉」に関する相談にも乗っています。お気軽にご相談ください！

守秘義務がありますので、秘密は守られます！ご安心ください。



たとえば…

近所に住む高齢者で気になる人がいる…認知症ではないか？

定年退職をし、時間に余裕ができるため、何か活動がしたい。

町内会で高齢者等の見守り活動を始めたいが、取組み方がわからない…。

など

対象エリアは…夢トピア星置連合町内会、星置連合町内会、山口連合町内会にお住まいの方

星置地区福祉のまち推進センター

〒006-0852

手稲区星置2条3丁目14-1 星置地区センター内
電話 826-5294



【福まち相談開設日】

第3木曜日 10:00～12:00

発行：社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会 ☎681-2644

